

FP 技能士試験省エネ合格法

1 . FP 試験に合格するためのモチベーションの上げ方

ようこそいらっしゃいました。

ワクワク系FPの福田です

毎日、FPと人事コンサルティングの仕事で忙しく立ち回ってます。

正直、仕事しながら新しいことを始めるのって、パワーがいりますよね！

またさらに、その新しいことを続けるのって、もっとタイヘン！

ときに、何でこんなことやってるんだろう？

みんな、あんな楽しそうに遊びやがって、あ～バカバカしい！え～い、やめた！

な～んて、キレてしまう日だってあります。

そんなとき、新しいことを続けるのに、とっても大事なコトがあります。

なんだと思いますか？

- ・自分にご褒美をあげる
- ・支えになってくれる恋人・家族がいる
- ・大声を出してストレスを発散させる

いろいろ、想像できたでしょうか？

さて、一番、あなたの目標実現に力を貸してくれるのは、あなたが、新しいことをすることによって生まれ変わる“あたらしい自分＝理想の自分すなわちワクワクな自分”を思い描き、それを、紙に書いて、毎日イメージトレーニングして明確になっていく、あなたの「なりたい力」です。

この、「なりたい力」が日々のイメージトレーニングで刻一刻と強化され、あたかも、すでに“ワクワクな自分”になった気分です。

では、“あたらしい自分 = 理想の自分すなわちワクワクな自分”を思い描くにはどうすればよいのでしょうか？

僕がよくやる方法は、とある休日の朝、目頭を右手ではたきかけるようにパサパサさせて、顔を洗いに行きます。顔を洗っているときは、まだ頭が97%くらいは動いていないので何も考えません。

その後、コーヒーをいれながら、脳が少しずつグ・ギ・ガギ・ギャーという音を立てて縮んだ脳の手足が伸びてきます。まさに目覚めの醍醐味です。

コーヒーを一口飲んだ瞬間、エネルギーがからだ中を駆け回りダァって感じます。

そうです、このエネルギーが駆け巡っているこの瞬間に、体のすべてに、ある命令を下します。

「私にできないことはない。わたしは、これからどうなりたいのだろうか？」と。

命令を下した後は、その日一日のんびりと好きな処に出かけます。(僕はもっぱら、鎌倉、どこかの日本庭園かディズニーリゾートに行きます)そのときは、めいっぱい無邪気に楽しむことがポイントです。

そして、翌朝、「どうだった？」とからだ中に問いかけます。

そのとき、ペンと紙を用意して、伝わったことを紙に何も考えずにどんどん書いていきます。つぎに、書いたものを読み上げます。これで、脳に“ なりたい自分情報 ”がインプットされます。それを今度は脳が語ることをそのまま、また紙にアウトプットします。このアウトプットしたものを、左脳を使う感じで、文章にまとめます。

するとどうなるのでしょうか？

明確な自分の将来の姿が文字で表され、そして、目を閉じてみると、その将来の姿がいきいきとビジュアル化され、ワクワクした気持ちになるでしょう。

そうです。この文字で表されたものが、

“ なりたい力 ”

この“ なりたい力 ”をズーっと持ち続ければ、“ あたらしい自分 = 理想の自分すなわちワクワクな自分 ”になれるのです。

ただ、残念なことに、生まれたての“ なりたい力 ”のパワーは何もしないと、急激に衰えていってしまうモノなのです。

では、この衰えをできるだけゆっくりさせる術はないのかというと・・・あります。

その方法とは、とってもカンタンです。

毎日、朝起きたときと、夜寝る前に、“ あたらしい自分 = 理想の自分すなわちワクワクな自分 ”について文字にした紙を読んで、その姿を想像することです。この繰り返しで、“ なりたい力 ”のパワーは維持できます。

では、さっそく、FPの資格を取ったあなたの“**あたらしい自分＝理想の自分すなわちワクワクな自分**”の姿を生み出してみてください。それが“**なりたい力**”になって、必ずやFP試験に合格して、“**あたらしい自分＝理想の自分すなわちワクワクな自分**”になっていることでしょう。

精神論はこれくらいにして次のページから、本題のFP試験合格のための勉強法について、具体的にお話していきます。

2 FP 試験合格のための道具（ツール）の作り方

FP 試験に効率よく省エネで合格するには、やはり、戦略とその戦略を実行するためのツールが必要になります。

まず、戦略ですが、戦略を立てるステップとして次の4ステップを踏むこととなります

Step1 目標を立てる（例えば、1月のFP試験に絶対合格するぞ！）

Step2 試験問題を分析して傾向をつかむ

Step4 学習ツールを作成する

Step5 学習計画を立てる

上の5ステップのうちStep1は、第一章の「FP試験に合格するためのモチベーションの上げ方」でお話したとおりに目標を立ててみてください。

それでは、Step2~Step4について具体的に見ていきます。

Step2~Step4は正直いって、試験に合格するための労力としては8割以上を占めると思います。それだけに大変ですが、ここをクリアすれば合格はもう目前といえます。

次ページからひとつずつクリアしていくことにしましょう！

(1) 試験問題を分析して傾向をつかむ

まず、FP 試験の過去問題を少なくとも 5 回分は手元に用意してください。過去問題は日本 FP 協会の HP (<http://www.jafp.or.jp/209.htm>) からダウンロードするか(無料ですが解説がありません)

FP サポートセンターから発売されている「2 級 FP 技能士検定試験問題集」(各試験回につき問題と解説が 1 冊になっています。1 冊 1,050 円 合計 5 冊で 5,250 円)を購入してください。大型書店(ネット注文を含む)から購入できます。なお、平成 18 年の 1 月試験からの問題集は、FP サポートセンターからは発売されておらず、近代セールス社から発売されています。

いろいろな合格体験記を読んでもみると、よく過去問は過去 3 回分をやれば良いと書かれていることが多いと思います。たしかに、FP の受験予備校に通学していて、きちんと受験予備校のカリキュラムどおりに勉強して、模擬試験を受ける人は、3 回分の過去問をサラッと解くだけでも良いのかもしれない。

しかし、過去問を利用して独学または通信教育で合格しようというのなら、**絶対 5 回分は必要**です。5 回分の過去問を、**解答を見ながら**解いていきます。解く際には、もし同じような問題に出くわしたら、選択肢の左側に、例えば同じような問題が、平成 17 年 5 月に実施された試験の問題 6 の選択肢 2 ならば、**17-5-6-2**とメモしておいてください。次の Step3「学習ツールを作成する」での問題分類の際に役立ちます。

あと、過去問を解く際には、科目別に最新のものから順々に解いていき **1 科目が 5 回分終了したら、次の科目に取りかかる**ようにしてください。1 科目ずつ完成していくことにより、その科目での**出題傾向 = 頻出問題**がはっきりわかるようになります。ここで、1 つ注意点があります。それは、

問題と解答を覚えようとしてはいけない!

ということです。あくまで、**出題傾向 = 頻出問題**がどんなものなのかを認識することがここではとっても大事です。

(2) 学習ツールを作成する

Stop2の「試験問題を分析して傾向をつかむ」が終わったら、いよいよ最大の山場となる学習ツールの作成となります。

学習ツールを作成の前に用意しておくモノが4つあります。

- ・ ルーズリーフ
- ・ セロハンテープ
- ・ はさみ又はカッター
- ・ 過去問（ダウンロードした場合は、プリントアウトしたもの
問題集購入の場合は、問題集とそのコピー）

以上のモノを用意したら、さっそく作成開始となります。ここで、作成の手順をまとめておきます。

手順1 Stop2の「試験問題を分析して傾向をつかむ」での傾向把握の成果とメモ（17-5-6-2等）を活用して、選択肢ごとに、過去問をはさみまたはカッターで切り取り、類似する選択肢ごとに選択肢をまとめる。

手順2 類似の選択肢ごとにまとめた過去問をルーズリーフに一定の行（2～3行程度）を空けて貼り付けます。

手順3 全科目、貼り付けたら、各問題の下のスペースに解答と自分なりの解説を書く。ここでの注意ですが、解答と解説は、自分で知っている範囲か、すぐに参考書等で調べられる範囲で、できるだけ簡潔に記入してみてください。

上記のような手順で、FP試験合格のためのツールが完成します。

では、もうすこし詳しく各手順をみていくことにします。

手順 1

過去問題の選択肢ごとのまとめ方について、もう少し詳しく見ていくことにします。

過去問の選択肢の文末に鉛筆でその問題の略称を書く

例えば、平成 17 年 2 月実施の問題 3 の選択肢 4 ならば、17 - 2 - 3 - 4 と書いておく。

過去問を科目別に分ける。(まだはさみやカッターで切らない)

ライフプランニングと資金計画 (FP 総論を含む) . . .	問題 1	1 ~ 10
リスクと管理・金融資産運用 . . .	問題 1	1 ~ 20
金融資産運用設計 . . .	問題 2	1 ~ 30
タックスプランニング . . .	問題 3	1 ~ 40
不動産運用設計 . . .	問題 4	1 ~ 50
相続・事業承継設計 . . .	問題 5	1 ~ 60
計 6 科目		

科目ごとに選択肢を項目別に分ける

はさみ又はカッターで切りながら科目ごとに選択肢を項目別に分けます。項目は、内容の似た問題肢を集めて、共通する言葉を使うと良いでしょう。

ただ、この項目を作るのは、結構タイヘンだと思うので、具体的に必要な項目を次ページに挙げておきます。ぜひご活用ください。

なお、この項目は僕が独自に分類したもので、ご自身で適当にアレンジして使い易いようにすると良いでしょう。

ライフプランニングと資金計画（FP 総論を含む）

FP 総論

ライフプランニング

ライフイベント表

キャッシュフロー表

教育資金

中小法人の資金計画等

住宅資金等

カード等

社会保険 医療保険

民間の医療保険等

社会保険 介護保険

社会保険 労災保険

社会保険 雇用保険

社会保険 年金一般

社会保険 老齢給付

社会保険 障害給付

社会保険 遺族給付

企業年金等 厚生年金基金

企業年金等 確定拠出年金

企業年金等 税制適格退職年金

企業年金等 国民年金基金

企業年金等 小規模企業共済

企業年金等 中小企業退職金共済制度

企業年金等 財形年金等

企業年金等 退職金

民間年金等 個人年金

リスク管理

リスクマネジメント	法人等の生命保険関連
生命保険契約者保護	損害保険一般
機構等	住宅総合保険
損害保険契約者保護	住宅火災保険地震保険
機構等	自動車保険（任意保険）
保険一般	自賠責保険
生命保険料・損害保	傷害保険
険料控除	年金払積立傷害保険
生命保険のしくみ	利益保険
定期保険	賠償責任
定期保険特約付終身	賠償責任保険
保険等	所得補償保険
アカウント型保険	医療費用保険
（利率変動型積立終身	機械保険
保険）	法人等の損害保険関連
養老保険	
収入保障保険	
こども保険	
個人年金保険	
医療保険	
特定疾病保障保険	
ガン保険	
介護保険・年金	
団体信用生命保険	
リビングニーズ特約	
団体保険	
簡易保険	
こくみん共済	
県民共済	
JA 共済	
生命保険を活用した	
相続対策	

金融資産運用設計

経済・景気動向
金融政策等
金融商品の保護制度
金利・利回り
総合口座
銀行の商品
郵貯商品
信託銀行商品
債券発行銀行商品
債券
外貨預金
株式一般
株式投資の指標
株式市場の指標
デリバティブ取引
投資信託一般
不動産投資信託 REIT
ETF
MMF
ファンド・オブ・ファンズ
外国投資信託
積立貯蓄
変額保険
財形年金貯蓄
教育資金の運用方法
ポートフォリオ

タックスプランニング

所得税一般	個人事業税
配当所得	法人住民税
不動産所得	個人事業税
事業所得	法人税
給与の課税関係	法人の所得金額の計算
退職所得	会社と役員間の税務
譲渡所得	少額減価償却資産の取扱い
不動産の長期譲渡所得	消費税
特定居住用財産の買換え等の場合の譲渡損失	法人成りのメリット・デメリット
の繰越控除	損益計算書
一時所得	決算書の見方
雑所得	
非課税所得	
損益通算	
損失の繰越控除	
所得控除一般	
基礎控除	
配偶者控除	
配偶者特別控除	
扶養控除	
寡婦（夫）控除	
雑損控除	
医療費控除	
社会保険料控除	
配当控除	
住宅借入金等特別控除	
個人の総所得金額の計算	
源泉徴収	
青色申告等	
確定申告	
個人住民税	

不動産運用設計

不動産一般	印紙税
不動産の調査	登録免許税
不動産登記	固定資産税
借地権	都市計画税
借家契約（借家権）	消費税
区分所有法	
国土利用計画法	
都市計画法	
建築基準法	
農地法	
生産緑地法	
土地区画整理法	
宅地建物取引業法	
資産の流動化に関する法律	
マイホーム購入時の留意点	
不動産売買契約	
不動産の価格	
不動産投資分析手法	
不動産の証券化	
不動産投資信託 REIT	
土地の有効活用 等価交換方式	
土地の有効活用 事業受託方式	
土地の有効活用 定期借地権方式	
土地の有効活用 土地信託方式	
土地の有効活用 自己建設方式	
土地の有効活用 事業用借地権	
不動産の有効活用のその他	
不動産所得	
住宅ローン控除	
不動産譲渡の個人譲渡所得の計算	
不動産取得税	

相続・事業承継設計

法定相続人
相続の承認と放棄
遺産分割の方法
遺産分割協議
遺言の方式
遺留分
宅地価額の評価
宅地の上に存する権利等
金融資産の相続税評価額
小規模宅地の評価減の特例
みなし相続財産
非課税財産
相続税の基礎控除額
相続税の配偶者税額軽減
2割加算
相続税対策
相続税の納税資金
代償分割
事業承継対策
取引相場のない株式
自己株式
相続税の納税
相続税申告
贈与税一般
相続時精算課税制度
会社一般
成年後見制度

手順 2

手順 1 で項目別にまとめた選択肢を項目別にルーズリーフに、ゼロハンデーブを輪にしたもので、貼り付けていきます。ゼロハンデーブを輪にすることによって、貼り付けた選択肢の移動が可能になります。最初は、あまり細かいことにこだわらず、ドンドン項目別に貼っていきましょう！

とりあえず全部貼り終えたら、次に、その貼り付けたルーズリーフを項目ごとにかかる～く流し読みをします。
読みましたら、その項目の中でもさらに類似の選択肢を近くにもっていきます。そのとき、ほぼ同じ問題でしたら、ひとつの選択肢を残して、あとのものは、取り外してしまいましょう。その際、外した方の問題の番号（18 - 1 - 3 - 2 といったもの）を残した方の問題に、類 18 - 1 - 3 - 2 といったように記入しましょう。そうすれば同じような問題が何回出題されていて、いつ頃出題されたのかが明確になります。

手順 3

いよいよ、最後となります！

ここでは、ルーズリーフに貼り付けた各問題の下に解答と解説（ポイントや関連事項）を記入していきます。

もし、FP サポートセンターや近代セールス社から発売されている「FP 技能士検定試験問題集」を購入していましたが、この中の解答の解説を参考にして、「必要かな？」と思った事柄も解答と一緒に書き込んでみると良いでしょう！

いかがでしたか？

これで、学習ツールは完成です。結構、労力がかかってタイヘンかもしれませんが、この作業を通じて、FP 試験の傾向がバッチリつかめるはずですよ。

あとは、このバインダーを何度も解きまくる（**最低3回は必要**）ことによって合格に必要な知識が自然と身についていきます。

問題を解きながら、関連事項がひらめいたときは、解答のルーズリーフにドンドン追加記入していきましょう。

問題を解くという作業は、特に1回転目は辛く、切なくなる日もあることでしょう。でも2回転目が終わり、3回転目に突入した頃には、

「過去問が解きたくて・解きたくてしょうがない」といったハイテンションになっていることでしょう。

そうなったら、もう合格は決まったようなものです。試験当日は「ちょっとお出かけ」といった気楽な気分で受験会場に行きましょう。

それでは、合格を楽しみにしております。

いっしょに、FP を日本中に、世界中に広めていきましょう！

追伸

PDF 小冊子を読んでみていかがでしたか？

こう思った方はいませんか？

- ・ PDF 小冊子を読んで、省エネ合格法のことにはわかった。でもちょっと、学習ツールを作る時間がないなあ～

あるいは、

- ・ 正直、学習ツールを作るのがめんどくさい！

ん～この学習ツールは自分自身で作るのが一番試験のことがわかっていいんですが、たしかに、忙しい皆さんには難しい場合もあるかもしれませんね。

実は、最近そんな声が僕のところに結構届いてきていました。正直、少しは予想していましたが、想像以上に多くそんな声が寄せられてきました。そこで、どうしたものか？と考えました。

この「FP 技能士試験省エネ合格法」の学習ツールを作るかどうか真剣に悩みました。本文でも書いたように、学習ツールをご自身で作る過程で FP の傾向が体で理解できるわけですから、この作業を省略してもよいのかどうかをです。

悩んだすえ、忙しい方には省エネを上回る**超省エネ**で合格するためには、学習ツールとなるテキストが必要ではないかという結論に達しました。

そこで、今回学習ツールを作るという手間をはぶいて、**いきなり問題をゲーム感覚で解きまくれる**状態に編集したテキストを発行することにしました。

ただ今回編集しましたのは日本FP協会主催の2級FP技能士試験
(資産設計提供業務)になります。

今後、他のFP技能士試験に対応するテキストも順次作成していく予定です。

今回編集したテキストは省エネ合格をさらに上回るものとなったため「**超省エネ合格！2級FP技能士試験合格講座**」と名付けました。

このテキストはB5版でページする319ページの1冊にまとめられています。
319ページというと結構ボリュームがあるなぁ~とのけぞりそうですが・・・
大丈夫！
結構カンタンにこなせてしまいますよ！

この「**超省エネ合格！2級FP技能士試験合格講座**」の特長は、

過去に出題された問題を同じような問題ごとにまとめているので、どんな問題が出るのかが一目瞭然

過去に出題された問題と解答・解説をワンセットで1問1答式に編集しているのでサクサク解ける(実際にはかる~く読み流せばよいです)ようにしてある。

なぜかこれまでの一問一答という問題が左側、答えが右側と分かれていたの
で目を左右に大きく動かさなくてはいけなくてかなり疲れるものが多かったが
そうする意味が不明

解答・解説を見れば問題のポイントや覚えておくべき関連事項が書いてあるので、
とくだん他のテキスト等を参照しなくてもわかるようになっています。

他の市販の問題集は解説だけではわからない場合も多く、他のテキストを参照する
手間がものすご~くかかりますよね

以上が特長です。さらに詳しくこのテキストについて知りたい場合は、ホームページ
「FP試験対策サイト ワクワク系FPが伝授！省エネ合格FP試験」
<http://blog.livedoor.jp/elifeplan/>をご覧ください。

それでは、FP試験の合格を心よりお祈りいたします(^ ^)